

公立高校の入試前日・当日に

公立高校の入試が今週の14日(学力検査)、15日・18日(面接)に迫り、本番直前となりました。ここまで来たら入試に向かって進むだけですが、やはり受験などに対する不安や焦りは誰でも持ちます。入試倍率が高いと心理面でマイナス思考に陥ってしまうこともあります。このような心理状態のときは、いままでの成功体験やピンチを乗り切ったときを思いだし、なるべくポジティブに考えましょう。また、入試が近づき不安になっているが、この精神状態は自分だけではなく、ほとんどの受験生が持つ精神状態だということも大切です。ストレスを感じているのは、自分だけではないのです。難しいかもしれませんが、なるべく平常に努めることが大切です。

ここまでくると、新たな問題を解くより、いままで解いた過去問題などを解きなおしてみましょう。新しい問題を解いてできず、焦ることのないようにすることが大切です。勉強をしなくては不安という人は、いつもどおりに勉強することになりますが、新しい知識を入れ込むのではなく、すでに理解している内容を再確認することがよいと思います。先ほど示した過去問題を行ったり、参考書やノートを見直したりすることがよいと思います。どうしても新しい知識を入れたいなら社会や理科、国語の漢字などの暗記科目程度に抑えましょう。無理して勉強し焦るのではなく、普段より軽めに勉強して気分を整えましょう。

受検前日には、当日の持ち物を確認しましょう。筆記用具、昼食以外にも、使い捨てカイロ、マスクなど防寒や体調調整グッズを持っていくとよいでしょう。また、当日の流れを考えておくともよいでしょう。例えば、どういう交通経路で受検会場まで行くのか、その方法とかかる時間を確認しておきましょう。学校説明会や出願で学校に行っていますが、当日は行く時間帯も異なりますし、早めに受検会場に入ったほうが気持ちに余裕ができます。慌てて受検会場に入ると、緊張したままで試験が開始してしまい、自分のペースをつかめないこともあります。

検査当日、学力検査問題が配付され、開始前に問題用紙に受検番号、解答用紙に受検番号と氏名を記します。開始合図とともに問題を解きますが、まずは問題冊子の表紙の注意事項をよく読んでください。この注意事項を守らなければ、得点が認められなかったり、減点されたりします。注意事項、問題はくれぐれもよく読み、何が求められているのかを考えて解答しましょう。

「平成30年度神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題 共通選抜 全日制の課程 III数学」の表紙には、次のような注意事項が記されています。その注意事項6には「6 答えに無理数がふくまれるときは、無理数のままにしておきなさい。根号

がふくまれるときは、根号の中には最も小さい自然数にしてください。また、分母に根号がふくまれるときは、分母に根号をふくまない形にしてください。」と記されています。さらに7には「7 答えが分数になるとき、約分できる場合は約分にしてください。」と記されています。

問題文をよく読み、何を問われているのかを理解して答える必要があります。どの教科についても問題の文章、問題文をしっかり読むことが大切です。また、ケアレスミスにも注意しましょう。ケアレスミスは、本来ならできるにも拘らず、注意不足で誤答や減点となってしまいます。ケアレスミスにはマークミスなどもありますが、大半は問題文を読み間違えてしまうことから起きます。例えば、「番号」・「記号」のどちらで答えるのか、「以下」なのか・「以上」のなのか、という指示を読み間違えずに解答してしまうことです。

ケアレスミスを発見するには、やはり解く時間以外に、余裕をもって見直しする時間を持つことだと思います。問題を解くのに時間がかかり、見直す時間があまりないとケアレスミスを見つけることができなくなります。過去問題を行うときに、検査時間と同一の時間内で、問題文を読み、解き、見直しまでできるようにしておきましょう。過去問題に慣れておけば、時間配分も掴め、余裕を持って見直しする時間ができると思います。

「できた」と思っても安心しないでください。この気持ちがピットフォール(落とし穴)を生みます。安心せずに見直してください。人間はミスをする生き物です。時間的に余裕があれば最初から見直すことができます。しかし、全ての問題を見直すだけの時間がない場合、スペルミス、カタカナの「シ」と「ツ」の間違い、漢字の間違い、英語の「l」と「i」の書き間違い、数字の「7」と「9」の書き間違いなど、いままでのケアレスミスの経験を活かし、見直しをするとよいと思います。

ケアレスミスの予防法は、本来、他人にチェックしてもらったり、時間をおいてチェックしたりするのが、典型的な対処法です。しかし、学力検査は自分ひとりで、限られた時間内に見直さなくてはなりません。そこで解答用紙を俯瞰的(解答用紙全体を見渡す)に見ると、間違っている箇所を見つけることができます。とかく問題に集中している時は、視野が狭くて間違いに気づかないことも、少し高くから解答用紙を見ることで発見できます。

最後に、受検前日の夜は、しっかりとした食事を取り、十分な睡眠をとりましょう。好きなもの食べるのがよいと思いますが、生ものや食べ過ぎに注意してください。体調管理が上手くできないでケアレスミスを起してしまう場合があります。風邪を引いて具合が悪かったりすると、ケアレスミスが多くなります。体調が優れず、注意力や判断力が低下気味になり、普段なら起さないようなミスをしてしまいます。

入試直前ですが、やれることをやったのです。あとは実力を発揮するだけです！